



資料2

市民協働推進委員会 の役割について

平成29年5月8日（月）

総務部 地域まちづくり支援課

❁ 市民協働推進委員会とは…

協働によるまちづくり及び市民公益活動の活性化の推進を図るため、市民協働推進委員会を設置する。



- ❶ 市民協働事業提案制度
- ❷ 市民活動センター “夢プラザ”
- ❸ 市民協働庁内推進会議



① 市民協働事業提案制度

市民の皆さんと市が協働して、地域課題の解決・改善に向けてまちづくりを進めていくために、市民の皆さんが具体的な事業を自由に提案する制度です。



【成案化した件数】

○平成25年度	6事業	○平成26年度	2事業
○平成27年度	1事業	○平成28年度	1事業

① 市民協働事業提案制度

実施事業例

◎箱の浦から始まる高齢者・一人暮らしのランチハウスの開設
(平成26年度市民自由提案部門)

近年の高齢化は、想像より早く、各地域では高齢者問題が提起されており、食事の在り方が、高齢者の健康に大きく作用していることから、健康維持の面からも公民協働で、空き家を借りて「ランチハウス」を開設し、昼食会を実施し阪南市全体に広めていく。

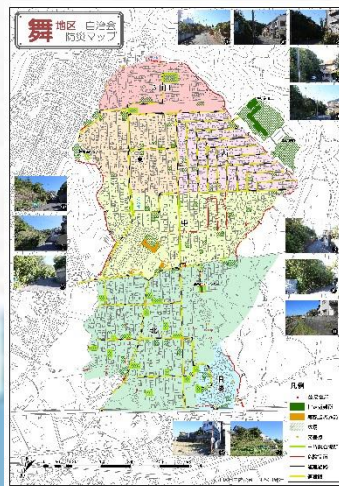


1 市民協働事業提案制度

実施事業例

◎舞地区自主防災会区域内の防災マップ作成及び防災訓練の実施 (平成27年度市設定テーマ部門)

舞地区の地震・風水害等を考慮した地区防災マップを作成し地域内の全世帯に情報提供すること及び地域全体での防災訓練を実施する。一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」意識改革を図る。



舞地区 自治会防災マップ

いざという時のために、近くに置いておきましょう

●これまでの災害から、「あれが良かった」「これが良かった」の事例の記録ですが、以下のようも事項が必ず見出すので覚えておきましょう。

- (7) 自治会であっても風やガスがあまり調理できないので、非常食は最低でも1週間分を用意しておいた。又、保存できない物は凍らせて貯蔵した。
- (8) 物が足らないうち、ローソクは大事。
- (9) 調理用の水の準備が大事。水が不足するので、自治会が備え付けの缶詰やミネラルウォーターを準備した。
- (10) トイレは水の確保が、自治会トイレを確保しておけば良かった。ペットボトルも役に立った。
- (11) 避難以上で政府のウェブサイトやポスターなどで情報を得た。
- (12) 避難中や避難後にもため息を吐いて室内を歩いた。
- (13) 手洗いや消毒液に気をつけて感染症の感染を防いだ。
- (14) 避難中もトイレがあった。

舞地区自主防災会
平成29年 4月作成

① 市民協働事業提案制度

NEW

実施事業例

◎本のリサイクル関連事業（平成28年度市設定テーマ部門）

現在、図書館開催の本のリサイクル事業は年3回。恒常的にこのような機会があれば不要になった本をこれまで以上、還元でき廃品となる本を減らすことができる。

リサイクル本を有料で販売した売上金を活用し、図書館、小学校等に新しい本を寄贈できる！



① 市民協働事業提案制度

【第3期市民協働推進委員会でのご意見（課題）】

- 団体には、提案制度はハードルが高い。
- 団体支援をし、運営を少しお手伝いできるような仕組みがあれば全体に底上げできると思う。



【ご意見を踏まえての今後の提案制度について】

- 阪南市に寄与する事業であれば、市内の団体に限らず受入れる。
提案制度自体のPRに繋がる。
- 平成29年度より、スタートアップ制度を検討。

② 市民活動センター “夢プラザ”



○市民活動センターってどんなところ？

市内で活動されている方がいきいきと活動できるように場所や情報、交流や学習の機会を提供している。100団体が登録。

② 市民活動センター “夢プラザ”

具体的にはこんな相談ができます！火曜日午後

- 運営に関するご相談（広報、会計、IT・WEBなど）
- 新たな担い手の発掘
- 法人設立、助成金などの各種手続き支援
- 助成金情報
- 他団体、企業、行政、学校等との連携について

③ 市民協働庁内推進会議

○協働によるまちづくりを全庁的に推進するために、各課から1名選出し、構成されている。

【推進委員会でのご意見】

職員の団体への理解を深めるために、職員も団体の活動の場に
参加できるような研修を実施するべきだと思う。



平成29年度は、団体の皆様のご協力を得ての実践型の研修
を検討。

1 市民協働事業提案制度 平成28年度実施事業について



現在、提案募集中！
(平成29年4月3日～5月31日)

応募年度	事業名称	団体名称	事業担当課	事業内容
25	放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることも目的として、平日の放課後、3会場において実施する。
25	阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。
25	男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	土木管理室	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力して、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、また「環境・美化啓発ポスター募集」や「男里川（山中川・うど川）水系の清掃活動」などを実施する。
25	はなていカレッジ	特定非営利活動法人阪南まちづくり推進ネット	地域まちづくり支援課	市民が共に学び、市民力、行政力のレベルアップをめざすだけでなく「協働のまちづくりの担い手」を増やし、また、「協働のまちづくり」を効果的に推進することを目的とした講座を開催する。
25	夢プラザフェイスブック	特定非営利活動法人阪南まちづくり推進ネット	秘書広報課	夢プラザフェイスブックは、本市のグルメ、特産品、美しい自然、および市民などの豊富な情報資源をフェイスブック上に自由に掲載し、その情報を市民であるユーザーが自由に検索し、市民相互の良好なコミュニケーションを図る。夢プラザフェイスブックページと市フェイスブックページとの間で、シェア機能を行い連携を図る。

26	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル（円卓会議）事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。
26	箱の浦から始まる高齢者・一人暮らしのランチハウスの開設	箱の浦自治会まちづくり協議会	介護保険課 市民福祉課	近年の高齢化は、想像より早く、各地域では高齢者問題が提起されており、食事の在り方が、高齢者の健康に大きく作用していることから、健康維持の面からも公民協働で、空き家を借りて「ランチハウス」を開設し、昼食会を実施し阪南市に広めていく。
27	舞地区自主防災会区域内の防災マップの作成と防災訓練の実施	舞地区自主防災会	危機管理課	舞地区自主防災会の活動地域の地震・風水害等を考慮した防災マップを作成し地域内の全世帯に情報提供すること及び地域全体での防災訓練を実施することにより、地域内の一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」及び「自主的に防災・減災活動に取り組み、災害に備える」よう意識改革し、防災・減災活動の主人公として行動することを促し、自助・共助による安全・安心な地域づくりを図る。
28	本のリサイクル関連事業	阪南市みんなの図書館を考える会	図書館	現在、年3回行っている図書館主催の除籍資料を活用する「本のリサイクル事業」を市民協働事業として実施することで、開催頻度の拡大を求める市民ニーズを解決し、廃品となる本を減らす。また、事業実施団体はリサイクル本を有償で売却し、その収益を公共の福祉に使用するとともに、リサイクル事業の場を新たな市民交流・市民活動の場とする。